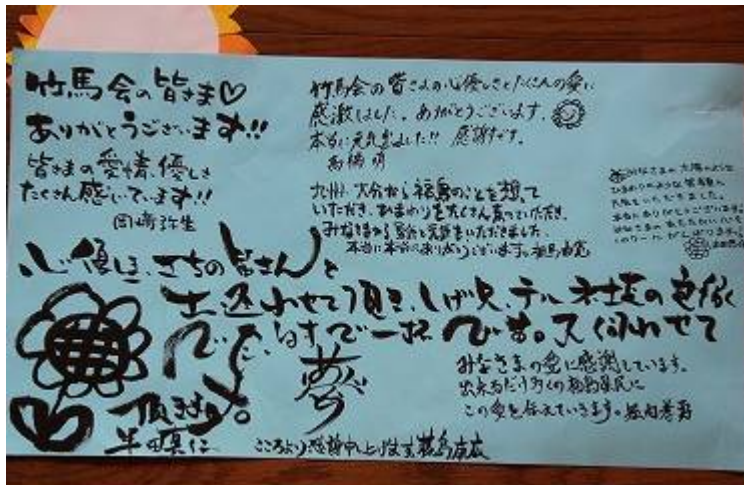


竹馬会情報紙

ホームページアドレス
<http://chikubakai.com>



竹馬会キャラクター
なべムシ君



《福島から手描きのメッセージが届く!!》

8月9日、福島ひまわり里親プロジェクトから大きな封書が届きました。中には画用紙に表には種まきの時の集合写真が一人ひとり忠実に描かれた手描きのイラスト、裏にはプロジェクトのメンバーの皆さんからの竹馬会への感謝のメッセージが寄せ書きされていました。

8月7日に蒔いたひまわりは順調に育っていますが、一部、虫にやられたり、芽吹きが悪かったものもあるようです。

そんな中、8月14日に農林水産省からヒマワリの除染効果についての発表がありました。放射線の除染に向けて、様々な実証実験を行っている同省が、5月に蒔いたヒマワリの茎葉と根を刈り取って調べたところ、1平方メートル当たりの土壤に含まれるセシウムの2千分の1に当たる520ベクレルしか吸収しなかったというものです。

しかし、ヒマワリが復興のシンボルとして福島の方々に勇気付けるとともに、福島の日も早い復興を願う全国各地の人々との「絆」が生れたことは紛れもない事実です。

このことに関して「福島ひまわり里親プロジェクト」はホームページで下記のようなコメントを発表しました。

竹馬会としても「絆」を深め、引き続き支援活動を行っていきたいと思います。“希望のひまわり”として！

日本全国の里親の皆様、福島ひまわり里親プロジェクトを応援していただいている皆様へ

～福島ひまわり里親プロジェクト 今後の展開について～ ※原文を一部省略しています。

1.ご協力への感謝と御礼

日本全国の里親さんになっていただいた皆様、本プロジェクトにご支援、ご協力をいただきました皆様に心より御礼を申し上げます。

2.福島県におけるひまわりの現状

ひまわりは福島の再生を願う県民のみなさまを勇気づける存在となり、復興のシンボルとして定着しようとしています。

3.平成23年9月14日の農林水産省の発表について

平成23年9月14日に農林水産省が「農地土壤の放射性物質除去技術(除染技術)について」という発表を行い、その中で「ヒマワリは除染効果が小さく、現場への普及の段階に無い」とされました。

今回の農水省の発表にはショックを受けております。

しかしながら、民間のグループの実験では、ある一定の効果があるという結果も公表されておりますので、可能性をあきらめず様々な状況にも応じられるようこのプロジェクトの改善をすすめて参ります。

4.ひまわりにかける絆と復興への想い

ひまわりに放射性物質を吸う効果が少なかったとしても、私たちに日本全国の方々の福島への想いがこもったひまわりというかけがえのない財産があります。

来年、福島県内で、里親さんの想いのこもったひまわりが咲き誇り、その様子をご覧になられた多くの福島県民はきっと、日本全国との絆を深く感じ、勇気づけられることと思います。

私たち福島ひまわり里親プロジェクトでは、日本全国の里親のみなさまの想いのこもったひまわりが福島の再生の歴史が動いた瞬間として深く刻まれ、復興のシンボルとして未来永劫に定着していくことを強く願っています。

5.これからも続きます福島ひまわり里親プロジェクト

私たちは復興のシンボルひまわりを通じた福島の再生が実現できる日までこのプロジェクトをやり続ける決意と覚悟でこれからも前進してまいります。

今年の秋には日本全国の里親さんが想いを込めて採取した種がたくさん送られてくることを楽しみにお待ちしております。

そして、来年以降は里親さんの想いのこもったひまわりの種を福島県内で配布する活動を続けるとともに、毎年里親さんの募集も行う予定です。また、放射線除去の効果についても研究を続けていくつもりです。

「雇用・絆・忘れられない」をキーワードに

これからも引き続き福島ひまわり里親プロジェクトへのご支援・ご協力をお願いします。

コスモス祭り

今年もいよいよコスモス祭りが近づいて来ました。

今年の会場は、草刈りに行かれた方はご存知と思いますが一昨年と同じ原口、成恒の段々畑の会場です。

10月9日(日)の開園祭から11月3日までの約1か月間開催されます。

竹馬会も例年の通りこの間、10月9日には「はずみ鍋」での豚汁、10月16・23・30日の日曜日にはラーメンを出店する予定です。今年には市内の各種団体、グループなど40を超える出店があるようです。

昨年はあいにくの雨で、後半の出店を断念しました。今年は天気に恵まれることを期待しています。

◆日時 9月18日(日)
午後5時30分

◆場所 佐知庵

◆打合せ内容

会場準備の日程、出店における注意事項、出店内容、出席者の確認など

6月に読売新聞の記者から「白い彼岸花」の話が聞きました。佐知の河川敷に昨年の春に彼岸花を植えた話をすると、早速、白い彼岸花の球根を30個届けてくれました。すでに各地で白い彼岸花の便りが届いているという事です。

佐知の河川敷に赤い彼岸花に交じって白い彼岸花が咲くと記事になりそうです。草刈りの時に芽が出ていけば切らないように注意してください！

白い彼岸花の球根



中津市三光の瀧春樹さん(71)が、白い彼岸花の球根を希望者に譲るという記事を6月に本紙に掲載したところ、県内各地から連絡が相次いだ。

球根は、長崎市の熊健さん(81)が、戦後間もない頃、たくさんの赤い花に交じって、ぼつんと咲いている一輪の白い花を見つけ、梅林に植え直して増やした。高年齢のため手入れができなくなり、梅林を整理し、球根を掘り起こしたことを俳句仲間(柿本高志)の瀧さんが知り、一部譲り受けた。瀧さんに電話やファクスで申し出た人たちは、「夫の墓に植えたい」「大事に育てたいので、ぜひ送ってほしい」などと伝えたという。三光佐知地区の地域興しグループ「竹馬会」にも約30個が送られ、山国川の河川敷に植えられた。あと1か月ほどで秋の彼岸。あちらこちらで、かれんな花が見られることだろう。熊さんに報告するのが、今から楽しみだ。



平成 23 年 7 月 15 日 毎日新聞

泥田バレーの写真で見事“金賞”

新聞を見たとき、一瞬「佐藤恒通」さんかと思ったら「佐藤恒光」(下関市)さんでした。毎日新聞社主催の「読者の報道写真コンテスト」(6月度)で竹馬会の泥田バレーを撮影した下関の佐藤さんが見事“金賞”です。

今後の予定

- コスモス園草刈り
9月18日(日) 午前6時～
活性化センターに午前5時40分集合
- 河川敷草刈り
9月18日(日) コスモス園草刈り終了後
- コスモス祭り打合せ
9月18日(日) 午後5時30分 佐知庵集合
スタミナ会有り
- 斧立神幸祭
10月 2日(日) ※地区役員、消防団、子ども会
- コスモス祭り会場設営
10月 8日(土) ※詳細は後日連絡します。
- コスモス祭り開園祭
10月 9日(日) ※詳細は後日連絡します
- コスモス祭り出店(ラーメン)
10月15・23・30日(日)

河川敷の花壇は、今年も自然生えのコスモスが芽を出していました。自然のコスモスは年々色が褪せ、茎も大きくなり必ずしもきれいとは言えません。それで8月初旬に全部整理しました。

しかし、竹馬会の花壇だけは木下好美さんがいつも手入れをしてくれいまます。

今は黄色の小さな花を咲かせています。

9月18日に草刈りをし、彼岸花が咲く頃には一段と目を引くことでしょう！



河川敷の花壇